

# 海外研修報告 【イギリス】



視察日時 2002年11月6日-13日

参加者 塚本昭一 田島建夫  
津田恵子 福田正男



はじめに

---

塚本昭一



# 今回の海外視察の基本コンセプト は……「自分たちの手で」

---

- **プランニング**……独自の企画・立案
- **情報の集約**……テーマごとにインターネットで情報を収集
- **事前研修**……視察先のHPからダウンロードした資料や参考文献の読み合わせ
- **視察先との接触**……まずはmailから



## 時間と費用の効果的活用

- **宿泊地の選定**・・・ホテルは1箇所ですべて連泊し、移動のロスをなくす
- **航空券**・・・・・・・・時間的なロスをなくすために直行便で格安料金(往復10万円)を選択
- **現地アクセス**・・・主に地下鉄利用(1日乗り放題チケット)
- **クレジットカード**・・・現金よりレートがいい。



# 視察日程

---

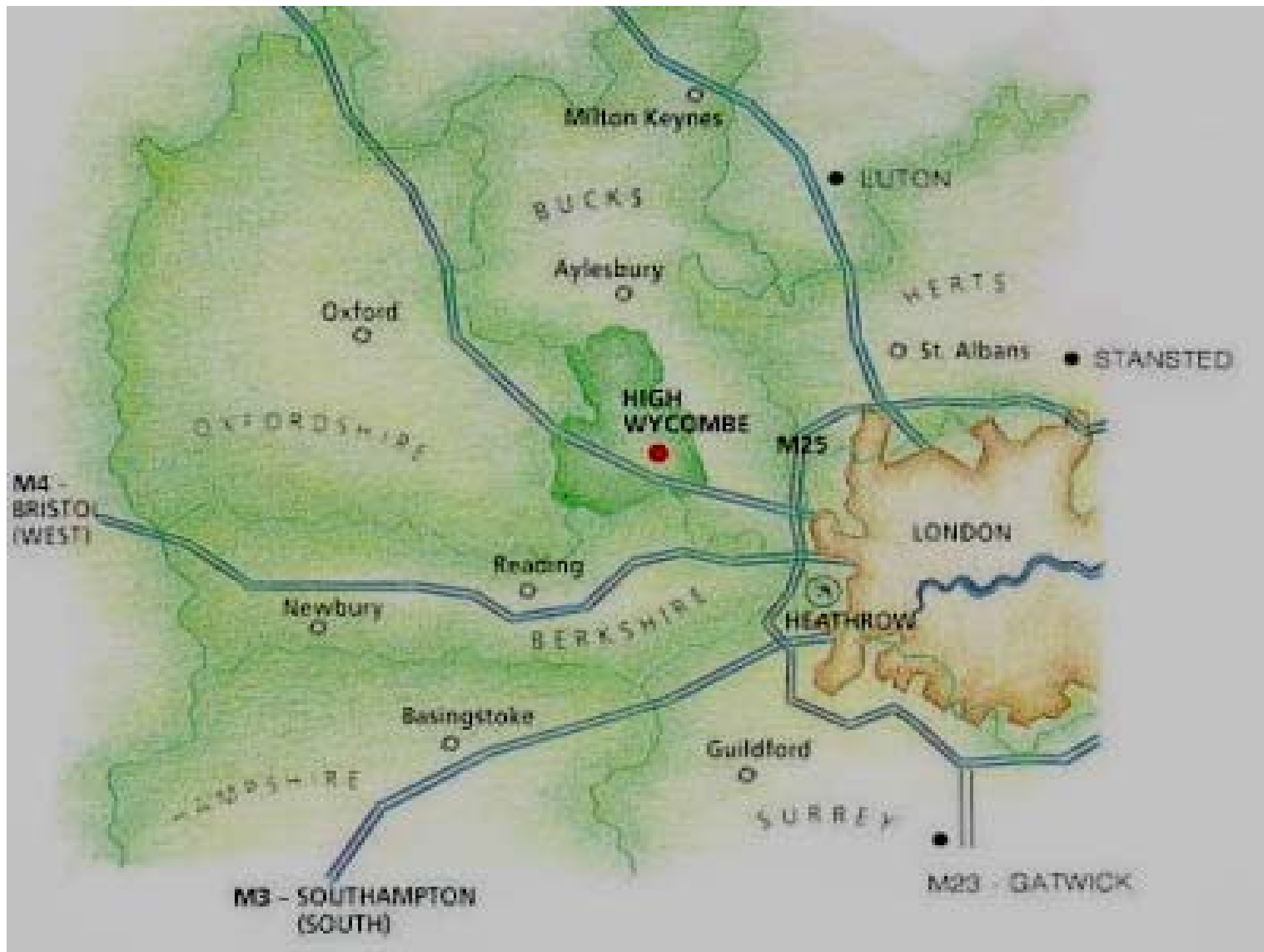
- 11月 6日【水】 成田空港出発
- 11月 7日【木】 事前調査 【英国議会傍聴】  
【High Wycombe下見】
- 11月 8日【金】 Wycombe District Council 訪問
- 11月 9日【土】 High Wycombe 環境センター訪問と  
環境教育のためのイベントに参加
- 11月10日【日】 大英博物館, 市内観光
- 11月11日【月】 ヘンダーソン・コート高齢者住宅訪問と  
高齢者への食事サービスのシステムとプライマリーケアの  
取組みについて調査
- 11月12日【火】 ヒースロー空港出発
- 11月13日【水】 成田空港到着



# 視察目的等の説明

---

津田恵子





# 視察目的

- ハイウィコムで  
(High Wycombe)  
<http://www.wycombe.gov.uk/>

再開発プロジェクト  
環境センター  
環境教育

- ロンドン・カムデン区で  
(London Borough of Comden)  
<http://www.comden.gov.uk/>

ヘンダーソン・コート高齢者住宅(シェルタードハウス)  
食事サービス  
プライマリ・ケア



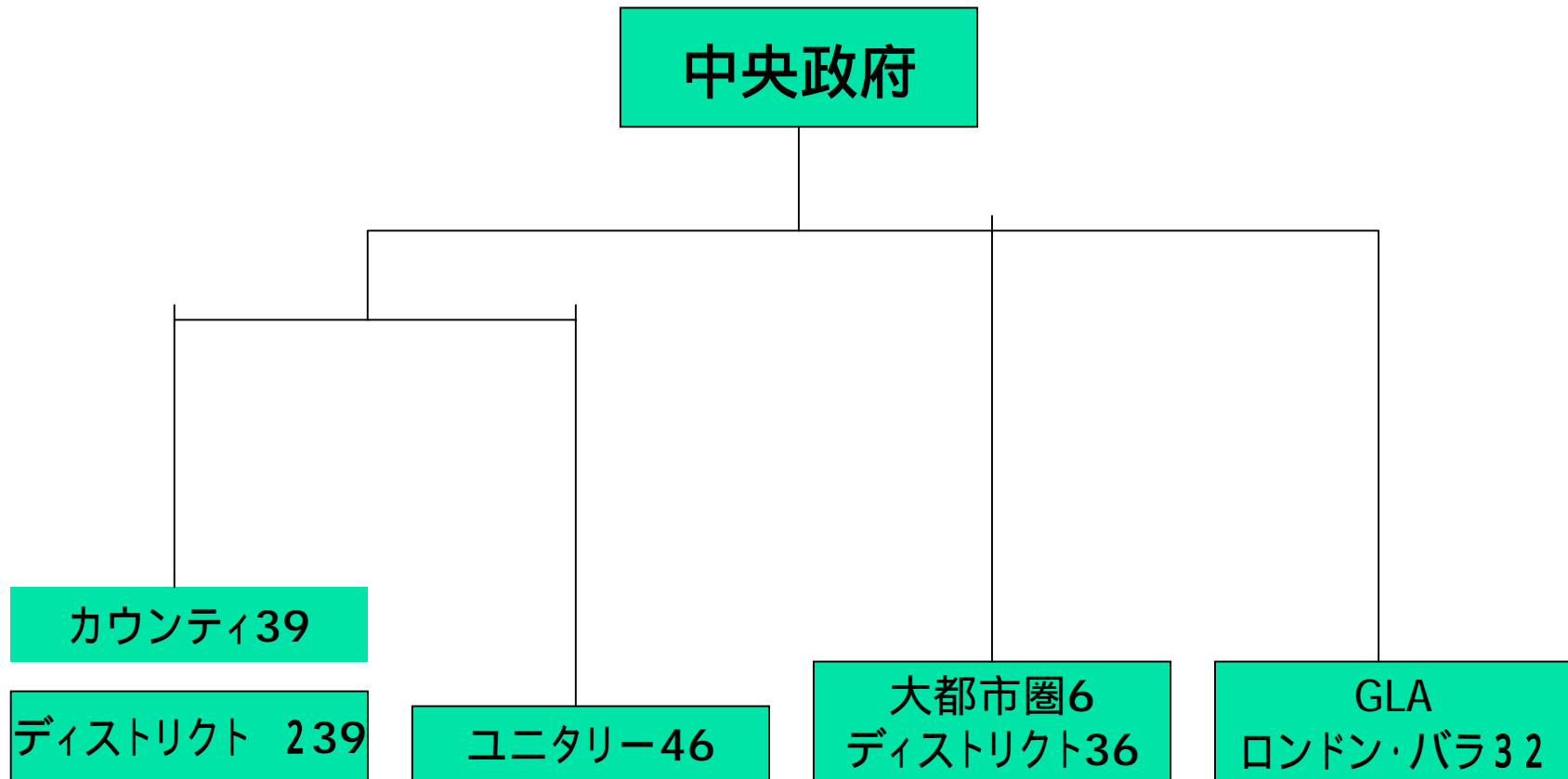


# イギリスの地方議会

---

- County Council
- District Council
- Metropolitan  
Barough Council
- Unitary Authority
- Town Council
- Parish Council
- 県議会 34県ある。
- 幾つかの市町村を束ねたもの
- ロンドン以外に大都市は6つ
- カウンティに属さない、ディストリクトを兼ねたもの。

# イギリスの地方議会





# コミュニティケアの成り立ち

---

- 1983年 ケント県で「地域パイロット事業」
- 1988年 グリフィス報告
- 1989年 白書「人々のためのケア」
- 1990年 「国民保健サービスおよびコミュニティケア法」成立
- 1995年 「障害者差別法」成立



# コミュニティケアにかかる サービス体系

---

- ナショナルヘルスサービス(保健省)  
訪問看護、保健指導、老人病棟、ナーシングホームなど
- 社会サービス(地方自治体)  
ホームヘルプ、配食、レジデンシャルケアホームなど
- 住宅サービス(地方自治体)  
シェルタードハウス、公営住宅など
- 所得保障(社会保障省)  
障害者生活手当、付き添い費用手当など

# ウィコーム地区議会と再開発に ついて

福田正男



# ウィコーム地区とは

---

- ロンドン郊外の幾つかの市町村が集まった地区
- 森林に囲まれた美しい町
- 人口は162,000人
- ロンドンに通勤する人がほとんど

# ウィコム地区

## *Wycombe District*

- ◆ 162,100 population
- ◆ prosperous, with pockets of deprivation
- ◆ urban and rural
- ◆ diverse communities





# ウィコーム地区議会について

---

- 議員総数 60人  
保守党 42人  
労働党 9人  
その他 9人
- 任期は4年
- 投票率は毎回30%前後と低い
- ユースカウンセル



# ウィコーム地区議会の政策の 決定について



---

- まず、議員 60 人からリーダーとなる 8 人を選出
- 代表者 8 人は各部門ごとに政策を立案
- 1 . コミュニティ、 2 . ハウジング  
3 . 文化、 4 . レジャー、 5 . 環境  
6 . 犯罪、 7 . 経済、 8 . 計画

# ウィコーム地区議会の首脳たち



# プレゼント交換



# 意見交換









# ハイウィコームの再開発・フェニックス・プロジェクト 基本コンセプト

---

- 複合利用のタウンセンターを開発
- 安い賃貸住宅の提供
- 犯罪の少ない安全な町づくり
- 交通渋滞を解消
- 環境を重視した開発



# ハイウィコームの再開発・フェニックス・プロジェクト 開発手法

---

- 開発計画を作成
- 情報公開
- 土地、資金の調達は
- 市民に対する同意はインターネット上





# ハイウィコームの再開発・フェニックス・プロジェクト 具体的政策

---

- 複合利用のタウンセンター建設のためには
- ショッピングセンター
- レジャー、コミュニティ、市民の広場
- 商業店舗、屋外のイベント広場、ストリート劇場
- 住宅の建設
- オフィス街
- 駐車場の整備
- 交通アクセス



# フェニックス・プロジェクト 開発予定地



メインストリート

High Wycombe の町並み



# 図書館

本当に狭いがパソコンコーナーは確保されていた。





# 歷史的建物



# 車の通行量が多い





# ハイウィコームの再開発・フェニックス・プロジェクト デザインガイドランス

---

- レイアウトと建築フォーム
  - 1．歴史的なもの
  - 2．個性的なもの
  - 3．屋根のデザイン
  - 4．街道の景観
  - 5．住宅地域のデザイン



# ハイウィコームの再開発・フェニックス・プロジェクト 注目すべき点

---

- 1 . 太陽暖房と自然日光の最大の利用
- 2 . 公共のリサイクル機能の確保
- 3 . 地域（地元）の資材の利用
- 4 . 建設資材の再利用
- 5 . 植樹計画
- 6 . 少ない資源を最大限に使うこと



# Wycombeの環境センターと 環境教育の草刈作業に参加

---

津田恵子





# ハイ・ウィコームの環境センター 運営はワイルドライフ・グループで

- 改修費 £ 60万 約1億2千万円
- 土地建物はカウンシル所有, 賃貸料なし。
- 運営費はカウンシルから補助 £ 20,000  
約400万円(年) ただし3年間のみ
- 運営方針は各環境グループのリーダーで話し合っ  
て決める。
- スタッフ1人, 有償ボランティア11人, 無償ボランティア  
8人
- 2年前に作成された環境教育・ナショナルカリキュ  
ラムのお手伝いをする。

ハイウィコームのnew環境センターへの道  
駅から歩いて15分、芝生の公園が広がって  
いました。その一角にセンターが



ハイウィコームのnew環境センターへの道  
この川は昔は道だった。お年よりが散歩、  
若者がサッカー。犬もリスも水鳥も。



ハイウィコームのnew環境センター入り口  
カフェだった建物をリニューアル。私たちが  
はじめてのお客さん。木の香りいっぱい。





ハイウィコームのnew環境センター展示室  
ここは情報を展示するコーナー。運営はチェアマン、センター長、ボランティアたちで。



ハイソファームのnew環境ヒンターの家  
イギリスで初めての木質ペレットを使った発  
電ボイラー。ペレットはスウェーデンから輸  
入。



ハイウィコームのnew環境センター研修室  
木の窓枠にはペアガラスが。壁は新聞紙を  
練りこんだブロックで保温性を確保。





ハイウィコームのnew環境センター周辺  
この川がウィ川。古い水車小屋が残っています。  
この先にあった製紙工場は撤退。





new環境センターの周りの芝生広場  
環境センターの横に大きなシャワールーム  
が…。思いっきり汗を流せます。





# new環境センターとシャワールームを遠望





# 環境教育

## 環境グループ Wildlife watch

---

- 子供を対象に環境問題にかかわるイベントを企画する。
- カウンシルからレインジャーや森林保護官が参加協力。
- 管理エリアが決まっている。

# 森林保護官





# カウンスルのレインジャー 活動の前に道具の使い方を説明



しっかり汗を流しました。





よく働くのが日本人です。





# 作業終了 刈り取った草の前で記念写真



# よく働いたご褒美は ホカホカのベークドポテトです





# 日本からのお土産・紙風船 すぐに遊びだしてくれました。



# 最後は輪になって ゲーム



# カムデン区

## ヘンダーソン・コート高齢者住宅の入り口





# カムデン区の高齢者住宅と 配食サービス

---

田島建夫



# ヘンダーソン・コート高齡者住宅

70の部屋を2人の管理人で運営しています。





# ヘンダーソンコート高齢者住宅

管理人Ms Allegra Lynch



# ヘンダーソン・コート高齡者住宅

2部屋とキッチン、バス・トイレで£85/週です



# ヘンダーソン・コート高齡者住宅

中庭に花壇やベンチ。車椅子の紳士やレディがおしゃべりを楽しんでいます。



# ヘンダーソン・コート高齢者住宅

帰りは裏口から。この横ではデイサービスが。





# カムデン区 ソーシャルサービスの窓口



# 配食サービス

細かな食事メニューの説明を受ける。





# 700食をセットする調理場

ほとんど加工されたものをランチボックスにつめて温めるだけ。



# 保温ボックスでホカホカの食事 約2時間で配達を終了





# カムデン区のプライマリーケア

---

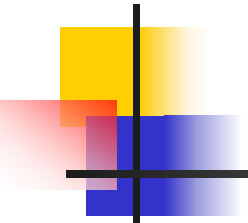
津田恵子



# カムデン区のプライマリーケア について

---

- 2ヶ所の病院と5ヶ所のヘルスセンターにソーシャルワーカーが配置されている。
- ソーシャルワーカー、医師等でプライマリー・ケア・トラストを組んで、ケアプランをたてる。
- 個人が独立して生活できることが基本。
- 週22時間のホームケアは区のサービスで無料。



# ケアが受けられるかどうかの アセスメント適格基準

---

- カムデン住民、ホームレス、入院患者
- 18歳以上
- 学習困難、ドラッグやアルコール依存症、  
HIV 恒久的な病気、身体・資格・聴覚障害  
者高齢者、妊婦



# ソーシャルワーカーに プライマリーケアについて聞く。





# ホームヘルプ、ホームケアの サービス内容

---

- ホームヘルプサービス

買い物、キッチン・トイレ・ベッドの掃除、  
リビング、寝室の掃除、洗濯

- ホームケアサービス

飲食の介助、ベッド・トイレの介助、身体清拭、  
着替え

1時間の予定をオーバーして  
熱のこもった説明を受けました。



まとめ

今回の視察を通して得たもの





おわりに

---

塚本昭一



# ウィコームの議会と 今後の交流を期待します



# おわりに

大石 阿都利さん  
コーディネート  
ありがとう

